



平成25年8月8日

各 位

上場会社名 株式会社 タカラトミー
 代表者 代表取締役社長 富山 幹太郎
 (コード番号 7867)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員連結管理本部長 小島 一洋
 (TEL 03-5654-1548)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月14日に公表した業績予想(以下、「前回予想」という)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	88,000	2,000	1,700	500	5.31
今回修正予想(B)	82,000	2,700	2,600	100	1.06
増減額(B-A)	△6,000	700	900	△400	
増減率(%)	△6.8	35.0	52.9	△80.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	83,496	1,112	784	△184	△1.96

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	183,000	5,000	4,400	2,200	23.37
今回修正予想(B)	156,000	5,000	4,400	1,800	19.12
増減額(B-A)	△27,000	0	0	△400	
増減率(%)	△14.8	—	—	△18.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	179,042	2,547	2,622	△7,097	△75.40

修正の理由

1. 第2四半期(累計)

当社グループは中核である玩具事業の強化に注力するとともに、国内での安定的な収益基盤を確立し、投資原資を海外事業に集中することによりグローバル・トイカンパニーへの変革に向けて、中長期的な成長戦略に取り組んでおります。

その一環として、平成25年7月16日付にて公表しましたとおり、当社はコア事業である玩具ならびに玩具周辺事業に集中し、国内外における事業拡大を図るべく、TVゲーム関連商材の卸販売を展開する当社連結子会社であった株式会社トイズユニオンの株式すべてを株式会社ハピネットに譲渡いたしました(以下、「トイズユニオン株式譲渡」という)。このトイズユニオン株式譲渡により売上高が減少となる影響があるものの、国内事業を中心とした玩具販売が順調に推移し、アミューズメントビジネスなど株式会社タカラトミーアーツにおける玩具周辺事業が好調であり、加えて昨年度からの構造改革が奏功していることから営業利益および経常利益については、前回予想から上方に修正いたします。四半期純利益については、トイズユニオン株式譲渡にともなう関係会社株式売却損および法人税等の計上ならびに、平成25年6月28日付にて公表しましたとおり、当社が保有しておりました株式会社インデックス(以下、「インデックス」という)の株式売却に係わる有価証券売却損の計上、保有する投資有価証券の評価損計上に伴い前回予想を修正いたします。

2. 通期

通期においては、前述のとおりトイズユニオン株式譲渡等に伴い売上高を修正しております。営業利益および経常利益に

については、トイズユニオン株式譲渡による影響が軽微であることに加え、玩具業界における最大商戦期である年末年始商戦期を控えていることから前回予想を据え置いております。当期純利益については、前述のインデックスの株式売却およびトイズユニオン株式譲渡に伴う関係会社株式売却損、ならびに法人税等の計上等により前回予想を修正いたします。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上